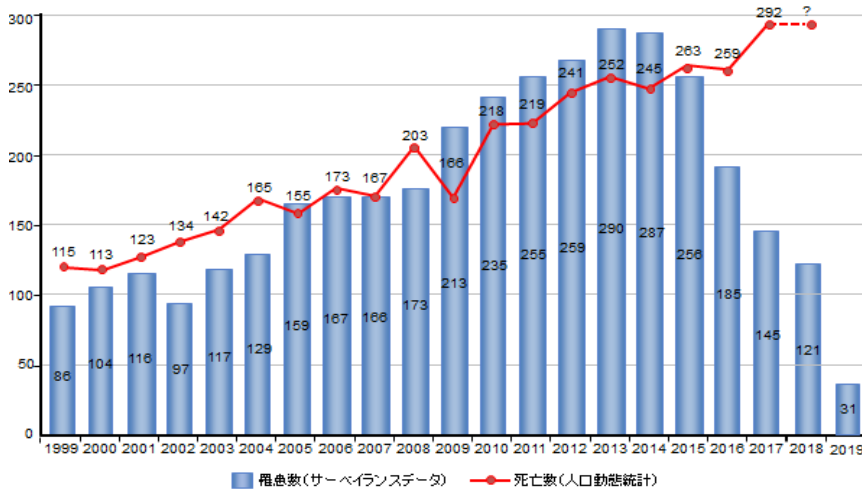


わが国のプリオン病の疫学的実態(2020年2月)

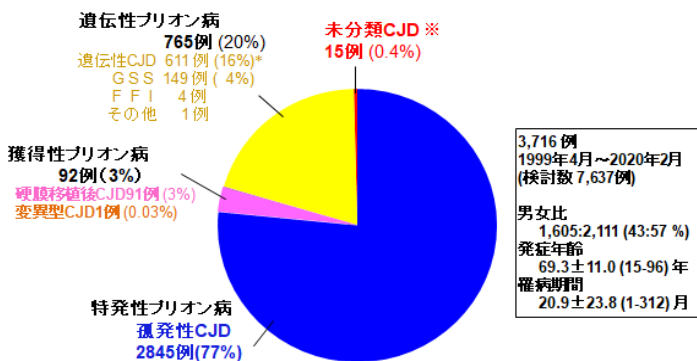
研究代表者: 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 水澤 英洋

プリオン病: 発病者数と死亡者数の年次推移 (n=3716)



1999年4月~2020年2月

プリオン病の内訳



3,716例
1999年4月~2020年2月
(検討数 7,637例)
男女比
1,605:2,111 (43:57%)
発症年齢
69.3±11.0 (15-96) 年
罹病期間
20.9±23.8 (1-312) 月

*PrP^{Sc}遺伝子変異の確認の無い16例を含む。
2例は挿入変異。

[2020年2月7日現在]

※CJDは確定しているもののみ。プリオン病の遺伝子検査中や硬膜移植歴の確定中の症例

Copyright © CJDサーベイランス委員会. All rights Reserved.

1999年4月~2020年2月

解 説

1. プリオン病サーベイランス委員会は、1999年4月1日から2020年2月7日までに7637例を検討し、3716例をプリオン病と判定した。
2. 病型別にみると孤発性CJD 2845例(77%)、遺伝性プリオン病 765例(20%)、硬膜移植後CJD 91例(3%)、変異型 1例(0.03%)であった。

※ 2015年以降、サーベイランス結果が人口動態調査数より少ないのは、調査が完了していないため